

しんまちだよりネットワーク版

府中市では「住み慣れた地域で安心していきいきと暮らせるまちづくり」の実現のため、地域のネットワークづくりを行っています。知っているようで知らない自分が住んでいる地域のことを知り、地域の皆さんがより暮らしやすい地域にするためにどうしたらいいのか、ご自身で取り組めることは何なのか、を考えるきっかけにいただければと思います。

災害に対する備え

台風の時節です。昨年の台風19号では、多摩川の氾濫を心配したことも記憶に新しいのでは。新町・栄町は多摩川流域より高い位置で水害の心配は少ないです。でも、地球温暖化の影響で集中豪雨、地震、強風、竜巻等の自然災害はどこで起きてもおかしくない状況です。



☆想定外が当たり前

「50年に一度」と言われるような、今までは考えられなかった自然災害が身近に起こる可能性があります。災害による実被害がなくても、電気、水道などのライフラインが止まってしまった場合、皆さんは自宅で生活が続けられる備えはありますか？2年前の北海道胆振東部地震では北海道全域が大規模停電（ブラックアウト）の被害にあいました。私事ですが、北海道の親類は全く揺れを感じない地域に住んでいますが、停電は3日間続き、備えの有無が生活に大きく影響したそうです。どんな備えが必要かは「東京防災」など様々な資料を見てください。大切なのは備えているかどうかです。

☆日頃の備えが大事なのはわかっているけれど



「被害にあったら大変なことになる」という気持ちとは裏腹に、「自分は大丈夫」という気持ちはどこかにありませんか？公的な支援は災害発生から3日しないと自分のもとには届きません。災害が起きてから3日間を乗り切るためのご自身の備え『自助』と、ご近所同士で助け合う備え『互助』が大切です。近所づきあいが薄い都市部では住民同士で相談する機会がないところも多いですが、地域ぐるみで乗り切る方法をあらかじめ考えておかないと、一人では、特に高齢者は命を守ることが難しくなる場合も。

日常から地域とのつながりを作ることは、災害など非常時の安全確保につながります。『自助』だけでなく『互助』の必要性についても考えてみませんか？



高齢者を取り巻く様々な課題や問題があります。地域の皆様から取り上げてほしい内容などありましたら、下記の連絡先にお寄せいただきたいと思います。

地域包括支援センターしんまち TEL042-340-5060 FAX042-340-5622
e-mail: sinmachi-kg@t-kenseikai.jp ネットワーク担当 野中